

沖縄県知事
翁長雄志 様

沖縄県は沖縄防衛局に対して、大浦湾内での「アンカー設置」作業を直ちに中断し岩礁破碎の許可申請をするよう勧告を（緊急要請）

ご承知のように、現在、辺野古新基地建設を進めるために、沖縄防衛局は名護市の大浦湾内において、工事区域内外にフロートやオイルフェンスを敷設すべくアンカー設置作業を強行しています。

沖縄防衛局の予定では、アンカーは合計 75 箇所に設置され、トンブロックと称されるコンクリート製のアンカーは 1 基が 10 t から最大 45 t にもなる巨大な物です。沖縄防衛局が沖縄県農林水産部からの照会に応じた回答では、サンゴ類の生育状況に配慮して設置するということでしたが、それらの具体的な設置場所等も不明であり、実際にはサンゴや岩礁が破壊されていることが市民グループにより確認されています。

これら環境に重大な影響を及ぼしているアンカー設置作業について、沖縄防衛局は本工事での岩礁破碎が許可されていること等を踏まえ、岩礁破碎関連手続きの対象にならないと判断しているとしています。

これらについて沖縄県としては、新聞報道によると「回答内容を精査し判断する」と述べておられますが、沖縄県担当職員が内容を精査し判断している間も、大浦湾では「粛々」と巨大なアンカーが投下され環境が破壊され続けています。

辺野古に新基地はつくらせない、を公約として当選された翁長県知事におかれましては、一刻も早く、沖縄防衛局に対して大浦湾内での「アンカー設置」作業を中断し、岩礁破碎の手続きに基づいた許可申請をするよう勧告してください。

アンカー設置行為は本工事でないにも関わらず、沖縄防衛局が県の勧告に対して手続きに関する「見解の相違」などと従わないようであれば、本工事の岩礁破碎許可に関しても許可条件に対する事業者側の誠実な履行が望めないからと許可を取り消すべきだと思量します。

現地では、カヌーに乗って抗議する市民・県民に対する海上保安庁職員による暴力的排除行為が連日行われており、ことは市民・県民の生命を守るためにも大至急を要する事態です。

以上、このことにつきまして、速やかな行動を求めます。

沖縄県民とすべての憂慮する市民有志一同
連名筆頭・宮城康博（南城市）
以下 2662 人連名（別紙）